

改善計画・結果報告書

平成21年5月22日

評価会議議長 殿

国際交流センター長

組織評価に関する実施要項第10に基づき、平成20年度に実施した組織評価（自己評価及び外部評価）結果に係る要改善事項について、次のとおり改善計画・結果を報告します。

要改善事項
国際交流の戦略構築がセンターの目的にはっきり位置づけられていない。
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
センター規則のセンター学術交流部門の業務として、「国際化推進の基本計画の策定に関すること」が規定されている。今後、この（留学生政策を含めた）基本計画について学術交流部門を中心に（年度内を目途に）戦略的なものとして提案し、管理委員会等を通じて全学的合意を図っていく。
改善結果
国際化の基本計画を策定中。 DDP進展を格段に進めるために、センターが中心となって、これまで学部間協定のみであったドイツ国ブラウンシュバイク大学との大学間協定を締結した。 文科省の基本的方針である留学生30万人計画のため、留学生の受入を増加させる環境づくり第一弾として、工学部における秋季入学のための授業料免除等のための規則的整備等を行った。

要改善事項
学術交流部門が平成20年8月から3名体制になったにもかかわらず、十分有効に機能していない。職務分担を明らかにし、「ビジョンと戦略」をさらに進めた戦略を提案すべき。
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
3名体制になってまだ間がないため、具体的実績が少ないのが実情。今後、各教員の役割分担（当面、相手国の地域をもとにした分担）を明確にしつつ、学生交流部門との有機的・機動的な連携にも配慮しつつ、国際交流の戦略的推進を進めていく。「戦略」については、上記のように国際化推進基本計画について（年度内を目途に）提案し、管理委員会等を通じて全学的合意を図っていく。

改善結果
<p>国際化の基本計画を策定中。</p> <p>国際連携を協力を推進するため、学術交流部門教員1名が学長補佐として任命され、連携関係の業務を精力的に進めている。</p>
要改善事項
<p>浜松キャンパスにおける国際交流関係の人員を補充すべき。</p>
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
<p>浜松に教員を配置換え、または定員増を図り、浜松の人員強化を行う。</p>
改善結果
<p>静岡の教員が必要に応じて浜松のバックアップを行っている。</p> <p>しかし、これでは真の解決にはほど遠い状態であるので、中期目標の中で、事務の一元化を含めた有効な職員の配置の適正化を図る中で、この必要性について主張している。</p>
要改善事項
<p>現行プロジェクトチーム（外国人教員により構成）が、22年3月に解消するのは問題。新たな機能・組織として継続すべき（公募が望ましい）。</p>
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
<p>新たな組織として、ネイティブ教員の人員を確保する。（組織の業務としては、翻訳・通訳、異文化理解教育、外国語資料の作成、ホームページの作成、オンライン教材の作成、留学生に対する相談、留学生によるボランティア活動の取りまとめ、地域との連携、イベントの企画・実施など。）</p>
改善結果
<p>ネイティブ教員の確保について、彼らの特に授業受け持ち実績（12単位/人）、専門教育への参加の実績を教育理事に提出し、来年度からの対応に、全学レベルでの人員配置計画の検討をお願いしている。</p>
要改善事項
<p>施設・設備の改善が必要。</p>
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
<p>教室、会議室及び学生交流室（談話室）の整備を行う。</p>
改善結果
<p>検討中。</p>

要改善事項
ホームページの改善が必要。
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
ホームページの英文の内容や動画表示等の小規模の改善は現在進行中（年度内完了予定）。ホームページの構造の見直しや中国語、ハングル版については、予算が必要なため、予算獲得に向けて努力。
改善結果
英文コンテンツの整備は既措置。また、入試センター、広報委員会とも協力して、分担を決めて、改善を進めている。

要改善事項
留学生センターから改組した時点で、予算が増加していないのは問題、必要な増額を要求すべき。
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
必要な予算を積算し、要求。
改善結果
国際交流基金の取り崩し額増加により、受け入れ・派遣学生に対する補助を拡充。

要改善事項
管理委員会と運営委員会の役割を明確にし、副センター長もそれらの運営に積極的に関わる体制が望ましい。
要改善事項に対する改善計画（実施時期を含む）
各委員会の役割は、センター規則により明確に規定されている。委員の人選等を改選時に適切に行い、実質的・戦略的議論ができるよう運用の改善を図る。
改善結果
人選を改善。上述の新しく発足した「国際連携担当」学長補佐を副センター長として任命した。